

# 日本聖公会 管区事務所だより

日本聖公会管区事務所

162-0805 東京都新宿区矢来町 65

電話 03 (5228) 3171 FAX 03 (5228) 3175

発行者 総主事 司祭 矢萩 新一

「あなたがたはその枝である」

管区事務所総主事 司祭 エッサイ 矢萩新一

「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。」

(ヨハネ15:5a)

宗教とは、永遠のもの、人知を超えた存在に、私たちみんなで「つながろう」とする営みです。切り取られた枝は必ず枯れてしまいますが、木につながっている枝はいつまでも青々とした葉っぱを携えて、やがては実を結ばせます。イエスさまは「あなた方はその枝である」と言われます。

私たちは、家族や友人、たくさんの仲間とつながることによって、安心して過ごせる自分の居場所をつくり、互いに助け合いながら生かされ、生きる力が与えられています（「共謀罪」が安心を脅かすものにならないことを願いつつ）。私たちはいつも、自分の手でしっかりとイエスさまにつながっているつもりですが、実はイエスさまの方からその大きな手で握られていて、いやになって手を離してみたけれど、ちゃんとつながっていた、大丈夫だったというくらいに関係なのではないでしょうか。また時には、一生懸命祈ったけれども、「祈りが叶えられなかった」「思うようにいかなかった」という経験をし、祈りや努力の足りなさが原因だと勘違いしてしまいます。しかし、キリストの愛に結ばれた私たちが願うことは、私たち自身が愛する者となっていくことによって実現していく、私たちの思いを超えた所に愛が実現していくことではないでしょうか。自分の期待通りにだけでなく、自分が愛されるばかりでもなく、人を愛する者、人の痛みや苦しみに寄り添う存在となっていくことによって、イエスさまというぶどう木の実を結ぶのではないのでしょうか。

そういう意味で、ぶどうの木やぶどうの実ではなく、あなた方はぶどうの枝であるとイエスさまは言われるのではないのでしょうか。イエスさまというぶどうの木につながっているということは、そのつながりに生かされていること、私たち自身が愛する者へ

## □会議・プログラム等予定

(5月25日以降)

### 5月

- 25日(木) 人権問題担当者会議(大阪)
- 25日(木) 文書保管委員会〔管区事務所〕
- 27日(土) 正義と平和・ジェンダープロジェクト〔管区事務所〕
- 30日(火) 文書保管小委員会〔管区事務所〕

### 6月

- 12日(月) ～13日(火) 各教区青年担当者の集い〔名古屋学生青年センター〕
- 13日(火) 青年委員会〔名古屋学生青年センター〕
- 15日(木) 宣教協議会提言実行デスク会議〔管区事務所〕
- 15日(木) ～16日(金) 定期主教会〔ナザレ〕
- 17日(土) 第63(臨時) 総会・神戸教区主教選挙〔牛込聖公会聖バルナバ教会〕
- 23日(金) ～26日(月) 沖縄週間沖縄の旅／人権セミナー〔沖縄〕
- 29日(木) 女性の聖職に関わる特別委員会〔案区事務所〕
- 29日(木) 主事会議〔管区事務所〕

### 7月

- 3日(月) 財政主査会〔管区事務所〕
- 6日(木) 常議員会〔管区事務所〕
- 12日(水) 正義と平和・原発問題プロジェクト〔管区事務所〕
- 20日(木) 正義と平和委員会〔京都教区センター〕
- 21日(金) 第63(臨時) 総会書記局会議〔管区事務所〕
- 25日(火) 礼拝委員会〔管区事務所〕
- 27日(木) 文書保管委員会〔管区事務所〕
- 31日(月) ～8月2日(水) 祈祷書改正委員会〔ナザレ〕

<関係諸団体会議・他>

(次頁へ続く)

※6月2日(金)は宣教師逝去者記念礼拝および青山墓地清掃のため、管区事務所通常の業務はお休みないたします。よろしく願いたします

と変えられていくことです。必ず豊かな実りをもたらしてください。神さまに信頼して、イエスさまというぶどうの木に繋がって、いや、繋がれていきたいと思ひます。



## □各教区

### 横浜

- ・ 聖職按手式 2017年6月10(土)10時半  
横浜教区横浜聖アンデレ主教座聖堂 司式:主教 三鍋 裕 司祭按手:志願者 執事 サムエル北澤 洋

### 大阪

- ・ 聖職按手式 2017年5月3日(水・休)10時半 大阪教区主教座聖堂(川口基督教会)  
司式:主教 磯 晴久 説教:司祭 佐々木道人 執事按手:志願者 聖職候補生 ペテロ金山将司 司祭按手:志願者 執事フランチェスコ成岡宏晃



† 逝去者 靈魂のパラダイスにおける光明と平安を祈ります。

司祭 ヨハネ一杉経法師(横浜・退)2017年5月7日(日)逝去(81歳)

司祭 セドリック竹内 弘師(横浜・退)2017年5月7日(日)逝去(78歳)

(前頁より)

- 5月26日(金)日本宗教連盟幹事会・理事会〔増上寺〕
- 26日(金)JCK キープ日本後援会理事会・総会〔立教〕
- 27日(土)NCC 教育部平和教育資料センター開設礼拝〔早稲田〕
- 6月3日(土)塚田理司祭大学葬〔立教〕
- 3日(土)小名浜支援センター閉所感謝礼拝〔小名浜聖テモテ教会〕
- 12日(月)日本宗教連盟幹事会・評議員会・理事会〔増上寺〕
- 14日(水)～15日(木)日本聖公会婦人会会長会〔大宮〕
- 21日(水)NCC 宣教会議ブレ集会実行委員会〔日本YWCA〕
- 22日(木)日本キリスト教団宗教改革500周年記念礼拝〔富士見町教会〕
- 24日(土)史談会〔管区事務所〕
- 27日(火)日本コプト正教会交流会〔聖アンデレ教会〕
- 30日(金)日本キリスト教連合会常任委員会〔管区事務所〕
- 7月5日(水)NCC 役員会〔早稲田〕
- 11日(火)～21日(金)GFS 世界大会〔オーストラリア〕
- 16日(日)～17日(月)聖公会女性フォーラム〔聖パウロ教会〕
- 19日(水)NCC 役員会・常議員会
- 26日(水)～28日 聖公会保育連盟大会〔仙台〕

## 《人 事》

### 北海道

エリザベト三浦千晴 2017年4月21日付 日本聖公会聖職候補生志願者に認可する。

### 大阪

執事 フランチェスコ成岡宏晃 2017年5月3日 公会の司祭に按手される。  
 聖職候補生 ペテロ金山将司 2017年5月3日 公会の執事に按手される。  
 主教 アンデレ磯 晴久 2017年5月3日付 大阪城南キリスト教会管理牧師の任を解く。  
 司祭 フランチェスコ成岡宏晃 2017年5月3日付 大阪城南キリスト教会牧師に任命する。  
 執事 ペテロ金山将司 2017年5月3日付 川口基督教会牧師補に任命する。

## 《教会・施設》

## 京都

京都府文教課より(宗)日本聖公会京都教区に合併する宗教学法人合併認証書が発行された。

(宗) 五條聖三一教会	2017年4月18日付
(宗) 敦賀基督教会	2017年4月18日付
(宗) 廣基督教会	2017年4月18日付
(宗) 初島聖十字教会	2017年4月18日付
(宗) 桜井聖保羅教会	2017年4月18日付
(宗) 橋本基督教会	2017年4月18日付
(宗) 笠田基督教会	2017年4月18日付

## 特集・神学校から

## 「羊飼いは職務（牧会）を通して救われる」

－ 2017年度の聖公会神学院 －

聖公会神学院校長・司祭 佐々木道人

先日の4月7日復活節第5主日は「神学校のため」の主日であった。当日の福音書は祈禱書による執事按手式で用いられる箇所である。ヨハネ福音書10章は「イエスは羊の門」という主題のものであり、その内容は羊飼い（教会の奉仕者）の依って立つ根拠と、羊飼い自身の救い（教会の奉仕者自身の救い）が明示されている箇所です。正に執事按手にふさわしい聖書であった。その福音書には次のような言葉で始まる。「羊の囲いに入るのに、門を通らないでほかの所を乗り越えて来るものは、盗人であり強盗である。門から入る者が羊飼いである。」〈ヨハネ10:1-2〉

ここで主イエスは恐ろしいことを言っている。教会の奉仕者・羊飼いは、イエスという門を通らないと、すぐに盗人や強盗に墮落してしまうという警告である。

羊飼いの墮落というテーマは、旧約エゼキエルにも同様の警告を見ることができる。

「主なる神はこう言われる。災いだ、自分を養うイスラエルの牧者たちは。牧者は群れを養うべきではないか。お前たちは乳を飲み、羊毛を身にまとい、肥えた動物を屠るが、群れを養おうとはしない。お前たちは弱い者を強めず、病める

ものをいやさず、傷ついたものをつつんでやらなかった。」〈エゼキエル書34章〉

そして主イエスは自らのことを「わたしは門である」と重ねて宣言し、さらに「わたしを通して入る者は救われる」と続ける。「イエスという門から入る」ことによって「羊飼いとなる者」が、羊飼いという（羊が豊かに命を受けるようにする）職務を遂行することを通して、牧者自体も救われるということが示される。

聖公会神学院は2015年度から「将来構想小委員会」を立て、学外の委員を交え毎月協議を重ねて三年目になる。冒頭に引用したように、牧師はもちろん、神学院自体が常に「イエスは羊の門」であることを想起し、自己検証をこの小委員会を通して行なってきたと言える。そこで、この将来構想小委員会が2016年12月の理事会に提出した構想案の骨子を紹介する。

## 1、神学者・教員の後継者養成

この件に関しては、2016年9月26日の主教会へウイリアムス神学館館長吉田雅人司祭と、聖公会神学院の佐々木の連名で『「神学教育に関わる後継者養成」についての提言』を提出

し、課題の推進の一步を踏み出した。

## 2、現役教役者のリフレッシュ・コースの構想と実践

現役教役者の継続教育に関しては、聖公会神学院「継続教育」・「研究休暇」コース制度を2017年度から発足させた。この制度は、現役教役者が東京で学びの時を持つとき、聖公会神学院が、宿泊費・食事代を負担するものである。またそのパイロットケースとして2016年9月から2017年3月までの半年間、現役教役者1名の滞在を受け入れ、有意義な時を共有できた。

## 3、信徒教育（各教区へのアンケート）

各教区に信徒教育に関するアンケートを実施し、現状の把握に努めた。今後その分析により、神学院で何をなすべきかを検討中。

## 4、実習（福祉、教育、医療施設との連携）

1988年に第30回臨床牧会訓練における差別発言問題により中断されて来た、「臨床牧会訓練」を、当事者である金永泰牧師との協力を仰ぎ再構築していくことが、計画段階に入っている。

## 5、他の神学校との連携（ルーテル・ウイリアムス）

毎年行なわれてきたルーテルとの7月の合同

の会は今年も予定されている。さらにウイリアムス神学館との連携をさらに求めて検討中。

## 6、海外（特にアジア）の神学校との交流

2016年度は10月に香港の明華神学大学、学生教員が来日し、1週間ほど神学院に滞在し、親しい交わりの時を持てた。

また2017年2月から3月にかけての韓国研修では、当地の神学生と交わり、又地域の社会宣教の現場を視察することができた。

## 7、特別学期の再考（神学生同士の共同作業）

個人の学びはできても、共同した学びをなすことが課題と見なされる昨今、共同作業の学びの再検討が求められている。

## 8、立教大学との連携

新年度に立教大学と、聖公会神学院の教学連携のWGを設置していく予定。

以上の課題を踏まえ、特に2017年度の重点課題として、3の信徒教育の計画、4の臨床牧会訓練の再構築、8の立教大学との教学連携の推進が求められている。

冒頭で触れたように、これらの課題はすべて、羊の門であるイエス・キリストを通してなされるべきであることを意識して歩む所存である。

## 特集・神学校から

### ウイリアムス神学館の2017年度

#### － 神学館の使命と課題 －

ウイリアムス神学館館長・司祭 吉田雅人

去る3月17日(金)、武藤謙一九州教区主教を説教者にお迎えしてウイリアムス神学館卒業礼拝が行われ、3名の方々が神学館から京都教区と九州教区に巣立っていきました。4月5日(水)には入学礼拝が行われ、2名の方が入学されました。現在ウイリアムス神学館には1年生1名、2

年生2名、3年生2名の計5名が宣教牧会に送り出される備えを始めたところです。宣教牧会の第一線に遣わされた卒業生たちの上に、そして祈りと学びの生活を続けている在生の上、神様の祝福と御導きが豊かにありますようにお祈りください。

### 神学館のはじまり

ウイリアムス神学館の館長室に、B5サイズで印刷された一枚のチラシが飾られています。「ウイリアムス聖書学校 日本聖公会京都教区設立」と書かれた大きな活字の下に、祈りの姿勢を取った男女のイラストがあり、その下に小さな活字で「日本聖公会の働き人の少い現状と教育の要望に應えて」「傳道師を志す男女と神學研究を望む一般の人々のために」とあります。

故 関本肇司祭がウイリアムス神学館創立50周年記念誌に寄稿された一文によりますと、故高地時夫司祭の提案で持たれたG・ディックスの勉強会の席上で、神学塾を開きたいという話が出たそうです。そこで佐々木二郎教区主教に相談したところ大賛成で、主教主導で教区会に「ウイリアムス聖書学校開設の件」が緊急動議として上程されました。議案説明は議長の佐々木主教が自ら行ない、「婦人伝道師養成機関であり、さらに男子リーダーの養成も兼ねたい」との述べられ、議場の賛同を得て可決されました。かくして1948年(昭和23)4月7日、ウイリアムス聖書学校がスタートしました。教員は佐々木主教をはじめ、現役の教役者が手弁当でやるのが趣旨だったとのことで、京都市内および近郊の牧師がそれぞれ担当しました。そして1952年には現在の「ウイリアムス神学館」に名称変更し、それ以来、今年で創立69年目を迎え、約170名の卒業生を公会に送り出しました。

### 神学館の教育理念

神学館の教育理念は、日本聖公会初代主教であったC・M・ウイリアムス師父の思いを伝える言葉、「道を伝えて、己を伝えず」にあります。私なりにあえてこの名言を解釈すれば、「道を伝える」とは、キリストへの道であり、キリスト者として生きる道であります。またそれは神様がお造りになった全被造物が、神様の全き支配のもとに、神様の愛のもとに歩むことができるよう仕えていく道でありましょう。その道を神様のみ旨に従って旅人として歩もうとする人々、叙任された奉仕職としてあるいは信徒の奉仕職として召さ

れた人々、すなわち教会の現場での働き人を養成し、その道行きを支えるのが神学館に与えられた使命だと考えています。この使命を果たすために専任教員1名と、11名の兼任教員が支えており、その内6名は日本聖公会の教会で牧会に従事しています(内、現役は3名)。あとの6名のうち2名は日本キリスト教団の牧師です。つまり教員の三分の二が牧会に従事しており、牧会の現場の経験に支えられた神学教育が行なわれています。それが神学館の教育の大きな特徴の一つであると言えるでしょう。

### 神学館の課題

いろいろな課題がありますが、その中でも急を要するのは「神学教育に携わる後継者養成」でありましょう。12名の教員の内、40歳代2名(16.7%)、50歳代3名(25.0%)、60歳以上は7名(58.3%)です。中でも、聖公会のメンバーでないと難しい分野(教理学や聖公会論、礼拝学や牧会学等)の後継者養成は急務だと言えます。しかも、聖職の場合は学問的素養だけでなく、牧会経験とバランス感覚が大切だと考えています。といいますのは、神学館は牧師の養成を使命としていますから、幅広い知識と豊かな人間性を養うことが求められていると思います。

具体的な養成方策は、これから1～2年のうちに立案しなければなりませんし、これと思う人の発掘も必要です。しかも京阪神地区で勤務しておられるという条件もありますから、かなり厳しい現実に直面しているといえるでしょう。

どうぞ神学生のために、また困難な課題を抱えている神学館のために、皆様の心からの祈りをお願いする次第です。



## 九州教区・九州地震被災者支援室より

支援活動～被災者を「孤立させない」ため～の取り組み《第9信》

「だれが、キリストの愛からわたしたちを引き離すことができますか。  
 艱難か。苦しみか。迫害か。飢えか。裸か。危険か。剣か。」 ロマ 8:35



- 4月よりボランティアセンターは元の熊本聖三一教会へ。  
 現在、「2日間の活動を毎月2回」のペースで実施。とくに巡回・訪問、そして必要な作業などに取り組んでいます。
- ボランティア受け入れは、原則一度に5名まで。  
 まずは電話にて、現地コーディネーター（熊本聖三一教会牧師山崎貞司司祭携帯電話090-4489-3878）へご連絡を。そしてご登録（各教区事務所を經由し九州教区事務所へFAX）をお願いします。  
 ※活動内容の都合上、日程調整をお願いしたり、お断りする場合があります。  
 ※ご質問、またご不明な点はお問い合わせください。  
 ※活動の手配・調整の都合上、ボランティア登録は1週間前までにお願いします。
- 今後の活動予定日および責任者は次のとおり。  
 5月2日（火）～3日（水） 中野司祭  
 5月17日（水）～18日（木） 柴本司祭  
 6月6日（火）～7日（水） 中野司祭  
 6月23日（金）～24日（土） 山本尚生  
 7月5日（水）～6日（木） 柴本司祭  
 7月21日（金）～22日（土） 山本尚生  
 8月1日（火）～2日（水） 中野司祭  
 8月17日（木）～18日（金） 柴本司祭  
 ※5月17日～18日は、依頼を受けたビニールハウス倉庫移設作業を計画中。  
作業のためのボランティア参加者を募集します。
- 参加の前に、ボランティア活動保険に必ずご加入を。  
 各自、各地の社会福祉協議会で「天災タイプ Bプラン」710円に加入のこと。  
 ※当活動参加者は、九州教区被災者支援室に対し上記加入費全額補助を申請できます。
- 「九州地震被災者支援のために」の祈りについて。  
 只今改訂を検討中ですが、被災地の状況は、残念ながら祈りの言葉から大きく変わっていないのが実情です。今しばらくはそのまま使用を継続してください。

2017年4月28日

九州教区主教 ルカ 武藤 謙一  
 九州教区・九州地震被災者支援室  
 室長 司祭 マルコ柴本 孝夫

 『日本聖公会要覧』

(第62(定期)総会版)訂正箇所

- ・ P.5 「ジェンダープロジェクト」委員追加  
 司祭 大岡左代子(京都)

## 世界の聖公会の動向

- ・米国聖公会と中国の関係
- ・女性に関する国連会議
- ・スーダンがACの新管区に
- ・カナダ聖公会の神学教育

渉外主事 司祭 ポール・トルハースト

### ○米国聖公会総裁主教が中国との緊密な関係を強調

米国聖公会のマイケル・カーリー主教は、アジアと東南アジアに総裁主教として初の公式訪問を行ない、中国のプロテスタント教会の指導者や政府関係者と面会した。

カーリー主教は米国聖公会が中国と関係を深める理由として次ように述べた。「キリスト者の道は常にキリストとの交わりによって開かれます。自らの名のもとに2または3人が集うとき、いつもイエスさまはそこにいらっしやると述べておられます。新約聖書はキリストと一体であることを説いています。使徒と繋がる聖なる公会として世界中の人々と交わる事が大切です。」

カーリー主教は、CCC (China Christian Council) とTSPM (Three-Self Patriotic Movement) の招待で中国を訪問した。カーリー主教は、北京と上海での会議に出席し、国家宗教行政庁 (SARA) の閣僚、宗教実践を監督する中国政府機関、CCC / TSPM 指導者と会見した。さらにフィリピン、香港、台湾への訪問も行なった。

### ○女性の経済的地位向上のための国連会議に多くの希望が生まれる

女性の地位に関する国連委員会の第61回会議が3月13日にニューヨークで開催された。20以上の国の聖公会やマザーズ・ユニオンの代表が参加し、会議の雰囲気は楽観・熱気・期待に満ちていた。今年の会議の課題は「変化する職業環境において女性の経済的地位を向上さ

せる」である。性差別のない平等性をどのように促進するか、そして女性により良い教育へのアクセスを与える方法などを議論した2週間のイベントには何千人もの人々が参加し、その多くは宗教団体、NGO、様々な国連グループを代表している。数百もの様々なイベントが並行して行なわれた。

国連事務総長のアントニオ・グテーレス氏は開会総会において、平等の擁護が運動家にインスピレーションを与えてきたと述べた。女性への権限付与は最優先であり、彼と国連がすべてのステップを支援すると約束した。

ブルンディ人でマザーズ・ユニオンのメンバーである弁護士、Mathilde Nkwirikiye氏は「このテーマはブルンディなど農業に大きく依存し、農業の多くが女性によって担われている貧しい国で特に重要だ」と語った。しかし、彼女は肯定的なメッセージで帰国することを期待していた。「委員会が私たちに刺激してくれることを願っています。私たちは互いに刺激し合って、共に世界中の女性に変革をもたらす努力を続けます。」

なお日本聖公会からも神戸教区の代表者2名、浜井美喜さんと小林真綾さんが参加した。

### ○スーダンがアングリカン・コミュニオンの新管区となる

アングリカン・コミュニオンは、7月30日にスーダンが管区として独立することを発表した。現在、スーダンは南スーダン・スーダン聖公会管区の一部とされている。

ACC (Anglican Consultative Council) 議長香港聖公会首座主教のPaul Kwong主教は喜びと共に次のアナウンスを発した。「39番目のアングリカン・コミュニオンの管区発足に際し、スーダンの教会に対し心からの祝辞を送ります。新たな管区の誕生は、世界中のアングリカン・ファミリーに喜びと興奮をもたらすだけでなく、豊かさ、励まし、そして希望をもたらします。多くの人々を神の王国に導く世界の光となる役割を果たすため、そして主のみ言葉が多くの人々の解放を実現することを可能にするため、あなた方

と共に歩むことを楽しみにしています。」

南スーダンは2011年にスーダンから独立していたので、南スーダン・スーダン管区の首座主教であるDaniel Deng主教には、二つの国にまたがって管理を行なうという困難が課せられている。聖公会教会の450万人に及ぶ信徒たちは、主に南スーダンに拠点を置いている。

アングリカン・コミュニオン事務局長であるJosiah Idowu-Fearon主教は、次のように語った。「イスラム教徒が支配的な国において、このように聖公会の管区を持ちえたことは歓迎すべき発展です。私たちは、管区が自立し、意味のある方法でキリストを讃えていくことを願っています。スーダンがコミュニオンの中で独立した管区となることは、スーダンのキリスト教徒にとって恩恵となるでしょう。今や彼らは孤独な存在ではなく、世界で8500万人の信者を数えるアングリカン・ファミリーの一員であるということを知ることになるでしょう。」

### ○カナダ聖公会首座主教が警告

「神学教育の最終目標を見失ってはならない」

カナダ聖公会の首座主教Fred Hiltz主教が、「聖公会の宗教教育者が、21世紀の教会のニーズを満たすために神学教育をどのように適応させるべきか議論するにあたって、最終目標が『キリストのような人格』を持つ聖職者を生み出すことであると忘れてはならない」と語った。

Fred主教は、オンタリオ州で行なわれた神学教育に関する全国的な集会に臨み、聖職者とし

て「聖なる信頼(sacred trust)」を果たすためには、十分な「霊的成熟(spiritual maturity)」を持っている候補者を教育しなければならないと述べた。

「非常に多様な使命や文化的背景の中で、志願者を教会の聖職者にするためには、教育を行なうすべての課程と共に、彼らの人生の聖なるものやキリストへの献身によって、彼らの使命が豊かさを増す方法で育成・形成するようあらゆる努力が必要です。」と語った。

70名の司祭、主教、教授、教区教会、神学校のサポートスタッフが集まり、カナダ教会における神学教育と聖職者養成の将来について話し合う集会の中で、Fred主教はそのような人格の形成には、「教会と学校の間のパートナーシップ」が必要だと語った。

Fred主教はまた、候補者や聖職者が自分の信念に対する情熱を持っていなければ、どれほど多彩な能力を持っていたとしても不十分であると強調した。「我々は技能と適性を求めています。しかし、牧会に要するスキルを鍛えているのかどうか、それともキリストの愛に対する情熱をもってやっているのかどうか、人々はかなり素早く判断することができます。」

Fred主教は、「特に重視していることは、聖職者が聖餐式を司るのに情熱的であり、キリストの体にあずかるこの素晴らしい瞬間に際し、精神的な準備ができていのかどうかである。」と語った。

## 第33回 教会音楽祭

キリスト教の教派を超えて、神さまへ賛美をささげようと、1968年から続けられている、最大の教会一致(エキュメニカル)礼拝です。

- 2017年7月8日(土) 13:30～15:30
- 東京・玉川聖学院谷口ホールにて  
入場無料(席上献金をお願いします)
- 説教者

日本聖公会 司祭 市原信太郎

- ★詳細は教会音楽祭のホームページにて  
<http://cmf.holy.jp/>



### ★参加教派・団体

- カトリック教会
- カンバーランド長老キリスト教会
- 日本キリスト改革派教会(有志)
- 日本基督教団
- 日本聖公会
- 日本長老教会(有志)
- 日本バプテスト連盟
- 日本福音ルーテル教会
- 在日華人クリスチャンセンター

## 教区報再録

### 「主教座空位」

～ The Vacancy of the Apostolic See ～

★神戸教区報・2017年5月号  
司祭 マルコ 藤井尚人

いうまでもありませんが、後継者のいない組織は滅びます。今から約2000年前に誕生したキリストの教会が今日も存続しているのは、イエスさまの権威を引き継ぐ後継者が絶えることなく存在したからです。「聖公会とは聖オーガスタンの椅子にリンクを貼っている教会」とは西原廉太司祭(※1)の表現ですが、597年、英国カンタベリーから始まったその歩みは今日まで、脈々と引き継がれています。その目に見える証が「歴史的な主教職」です。

### アラタメテ、教会法

～日本聖公会法憲法規～

御存知のように、神戸教区は2回の臨時教区会を開催し、次期主教を選出するための選挙を行いました。教区内で次期主教を選出することはできませんでした。

「過半数じゃ、だめだったんですか」という質問には「法憲法規にあります主教選挙規則では聖職・信徒同時に3分の2以上の支持がないとだめなんです」という答えが正解となります。つまり、聖職もしくは信徒の3分の1(全体からみると6分の1)の賛同が得られない場合、何度繰り返しても当選者は得られないのです。

日本聖公会のこの主教選挙規則について、意見は分かるところですが、『司牧のよりどころに』(※2)という法憲法規の解説書には、その規則の精神について《新主教にとって、少なくとも就任時に聖職・信徒の3分の2以上の支持が確認できることは大きなメリットです》と記されています。

2回の教区会を経ても当選者が得られない時

は、いつまでも当該教区で選挙を続行せず、その主教選挙の権利は管区総会に移る、という規則の理由についても《教区を分裂に追い込むかも知れないような禍根の危険を避ける牧会的配慮であり》、あるいは、退職主教・退職司祭が、教会、教区、管区の公職に就けないという規則に関しても《いわゆる「院政」を禁止しているからです》という～日本史の授業を思い出すような～解説を読むにつれ、不勉強な私にとって、この度の主教選挙は、教会法に秘められている先人たちの智慧を、しみじみ、学ぶことのできる機会にもなりました。

### 良い主教 悪い主教

若い方は御存知ないかもしれませんが、神戸教区のおじいちゃんと呼ばれた覚前信三という老司祭がおられました。ある時、当時、神学生だった私をつかまえて、何気なく、こんなお話しをしてくださいました。「主教さんに、良いも悪いもないんだよ。みんなが支えれば、良い主教になり、みんなが足を引っ張れば、悪い主教になる。それだけのこと」。このシンプルな教えは、牧師、園長、担任の先生、職場の上司、町内会長、はては、宴会の幹事に至るまで、すべてのリーダーとメンバーの関係に当てはまります。大切なことは、自分の思いだけでなく、神が、どうして、その人をリーダーとしてお選びになったか、ということ祈り求めること、ただ、それだけです。

初めからのことを、思い出すな。昔のことを、思いめぐらすな。【イザヤ書43章18節】

イザヤが預言したこの神の言葉は、捕囚の地にいる神の民イスラエルに対しての厳しい警告です。昔を懐かしむという、そのこと自体が悪いものではありません。問題は、過去に囚われ続けることで、いつしか「今のこの辛い現実、もう神の御業は働いていないのだ」という不信仰の罪を犯してしまうことです。だから、イザヤの預言はこう続きます。

～見よ新しいことをわたしは行う。今や、それ

は芽生えている。あなたたちはそれを悟らないのか～

6月17日(土)、東京で開催される日本聖公会臨時総会(神戸教区主教選挙)の上に、神からのサプライズ(※3)を、祈りのうちに待ち望みましょう。それは、神戸教区の新しい聖霊降臨～ペンテコステ～。



- (※1)『聖公会が大切にしてきたもの』  
(著 西原廉太 聖公会出版 2006)
- (※2)『司牧のよりどころに』  
(著 飯田徳昭 聖公会出版 1996)
- (※3)「SUR(上からの)PRISE(招き)  
= SURPRISE・サプライズ=驚き」

司祭 マルコ 藤井尚人  
(神戸聖ヨハネ教会牧師・  
神戸松蔭女学院大学チャプレン)

## 読者の声・教会の声

### ■教皇名の表記について

大阪教区退職執事の田宮紘です。いつも「管区事務所だより」を興味深く読ませていただいています。さて、前号321号の7頁の記事の見出しは「フランシスコ1世教皇」となっていますが、「フランシスコ教皇」と表記するのが正しいと日本カトリック中央協議会が発表したと思います。後の教皇が「フランシスコ」を名乗るときはフランシスコ2世で、前の教皇のことを「フランシスコ1世」と呼ぶのかもしれませんが。

教皇はイエズス会出身ですが、選出されたときフランススコ会の枢機卿から困難な人に寄り添う教皇になって欲しいと言われ、自身の思いからもフランシスコにしたようです。

私は、フランシスコ会の施設で野宿者の散髪をしているので、カトリックのことに敏感過ぎるのかもしれませんが、投稿者に言うべきでしたが、タイトルですので気になりメールしました。主にあって大切なお仕事をされていることを憶え、ますます活躍されることをお祈りします。

□「管区事務所だより」編集室より  
御指摘いただき、ありがとうございます。

教皇就任当時は、枢機卿自身が「フランチェスコ」とイタリア語で発音しておられて、日本で

は英語の発音「フランシスコ」が定着しており、また、アッシジの聖フランシスコとの混同を避けるために、「日本の教会は1世を付けて呼んでいく」とした一時期があったようです。しかしその後、教皇庁大使館より日本カトリック中央協議会に通知があり、新教皇名を「教皇 フランシスコ」として各小教区・信徒・司祭・修道者に周知するように指示があり、現在に至っているということを確認しました。今回の記事の見出しは寄稿者の原稿によったものですが、今後は固有名詞の称号・肩書等につきましても正確さを期したいと考えます。このたびの御指摘に感謝いたします。この記事の執筆者は海外に滞在のため、まずは編集部より御返事いたしました。(広報主事・鈴木一)



### 《聖公書店で職員募集》

日本聖公会の祈祷書、聖歌集、聖公会手帳などの販売を委託している、日本聖書協会直営・聖公書店オフィス(狭山市)で職員を募集しています。問合せはTEL 04 - 2900 - 2771 まで。

管区事務所  
〒162-0805  
東京都新宿区矢来町65番  
電話 (03)5228-3171  
FAX (03)5228-3175

日本聖公会

NIPPON SEI KO KAI

PROVINCIAL OFFICE  
65, Yarai-cho, Shinjuku-ku  
Tokyo 162-0805, Japan  
Tel. 81-3-5228-3171  
Fax. 81-3-5228-3175

内閣総理大臣 安倍 晋三 様

## 「組織的犯罪処罰法」改正法案の廃止を求めます

わたしたち日本聖公会正義と平和委員会は、安倍政権が成立を押し進めようとしている「組織的犯罪処罰法」は、「共謀罪」を「テロ等準備罪」と呼び変えているだけで、実質的には「共謀罪」だということを確信しています。「テロ対策」のための立法でないことは明らかであり、わたしたち一人一人の内心の自由を脅かす憲法違反の法案であることから、法案の撤回・廃案を求めます。

政府は「国連越境組織犯罪防止条約」の批准のために必要と言っていますが、この条約は、マフィアや麻薬の密輸、人身売買などを繰り返している集団が行う経済犯罪に対処するためのものであって、「テロ対策」とは関係がありません。

また、「テロ対策」に必要な法律は、現行法で十分対処可能です。

「組織的犯罪処罰法」は、刑法の基本原則（犯罪の実行行為を処罰する）からも、日本国憲法（国家とは人間の尊厳を守り、国民の生命、自由、幸福の追及を守る）から見ても、全く問題があるといえます。

わたしたちは、「平和を実現する人は幸いである。その人たちは神の子と呼ばれる」（マタイによる福音書5章9節）とのみ言葉に生きる者です。戦争に反対する者として、憲法が保障する表現の自由が脅かされるようなこの法案には絶対反対です。

わたしたちは、「組織的犯罪処罰法」改正法案の撤回・廃案を求めます。

以上

2017年5月17日

日本聖公会 正義と平和委員会 委員長 主教 上原榮正  
人権問題担当主教 主教 武藤謙一  
管区事務所総主事 司祭 矢萩新一  
宣教主事 谷川 誠



# 地球環境のために祈る日

6月4日

## 地球環境のための祈り

「天地万物を創造された主よ。あなたは、すべてのものを造られ、それらをご覧になり『よし』とされ、祝福されました。そして、その管理をわたしたち人間に委ねられました。しかし、東京電力福島第一原子力発電所による災害が示すように、わたしたちはあなたのご命令にそむき、自らの欲望を満たすために自然環境を乱用し、破壊さえています。今、そのことの故に世界中の多くの人々が苦しんでいます。どうかわたしたちがあなたのご命令に立ち帰り、あなたによって与えられた自然環境を大切に保全し、後（のち）の世代のために残すことができますように。また、原子力発電所による災害など、環境破壊の被害者の苦しみを取り除き、わたしたちの生活を変え、自然と共に生きることができますように。そして、自然を通じてあなたが現されるご栄光を仰ぎ見ることができるようにしてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン」

2017年

日本聖公会 

正義と平和委員会



日本聖公会管区事務所ホームページ: <http://www.nskk.org/province/>

☆ 「管区事務所だより」についての要望・寄稿などをメール、また郵便でお寄せください。